

No. 539  
2016年  
6月

# OR学会だより

公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-13-5 サン・チカビル7F  
電話 (03) 3851-6100 Fax (03) 3851-6055  
<http://www.orsj.or.jp/>

## ● 第6回「近藤賞」候補者募集

「近藤賞」は、2007年に日本OR学会創立50周年事業の一環として創設されたものであり、ORの研究、普及または教育に傑出した業績を挙げた個人（またはグループ）を表彰し、わが国のORの発展に資するとともに、広くこの分野の社会における認知度を高めることを目的としています。

このたび、下記の要領で第6回「近藤賞」受賞候補者を募集いたしますので、ご推薦くださいますようお願いいたします。

**推薦方法：**日本OR学会個人正会員および名誉会員による推薦

**提出書類：**推薦理由書、被推薦者の略歴および主要業績一覧表（書式自由）

**推薦対象者：**ORの研究、普及、または教育のいずれかの分野で傑出した業績を挙げた日本人、または日本を主たる活動の場とする人（グループも可）

**推薦締切：**2016年9月30日

**推薦書送付先：**OR学会事務局宛

E-mail: [jimukyoku@orsj.or.jp](mailto:jimukyoku@orsj.or.jp)

\*受賞者は近藤賞選考委員会において決定し、2017年春のOR学会研究発表会で表彰を行い、受賞記念講演をしていただく予定です。

\*「近藤賞」は2年に1回程度の頻度で募集を行う予定です。

\*詳しくは学会WEB

<http://www.orsj.or.jp/whatisor/award10.html>

<http://www.orsj.or.jp/~oldweb/Members/kondou.pdf>

をご覧ください。

## ● 2016年秋季シンポジウム（第76回）

**日程：**2016年9月14日（水）

**場所：**山形大学（小白川キャンパス）

**実行委員長：**中山 明（福島大学）

## ● 2016年秋季研究発表会

**日程：**2016年9月15日（木）、16日（金）

**場所：**山形大学（小白川キャンパス）

**実行委員長：**古藤 浩（東北芸術工科大学）

## ● 中部支部講演会

**支部URL：**<http://www.orsj.or.jp/chubu/?p=2593>

### ・中部支部第1回講演会

**日時：**2016年6月11日（土）14:30～16:45

**場所：**名古屋工業大学2号館7階701B会議室

**テーマと講師：**

14:30～15:30

「離散凸解析に基づく機械学習手法について」

前原貴憲（静岡大学）

15:45～16:45

「DEAによる店舗の商圈属性分析と品揃えについて」

三浦英俊（南山大学）

**懇親会：**17:30～（鶴舞駅周辺、会費5000円）

準備の都合上、登録をお願いします。

<http://www.orsj.or.jp/chubu/?p=2596>

## ● 関西支部講演会

**支部URL：**<http://www.orsj.or.jp/kansai/>

### ・関西支部研究講演会

**日時：**2016年7月16日（土）12:40～17:00（12:00開場）

**場所：**常翔学園大阪センター301教室（大阪市北区梅田3-4-5毎日インテシオ3F）

<http://www.josho.ac.jp/facility/osakacenter.html>

**テーマ：**「ORの第一線で活躍する女性研究者たち」

**オーガナイザ：**

井垣伸子（関西学院大学総合政策学部 教授）

梅谷俊治（大阪大学大学院情報科学研究科 准教授）

**講演会の趣旨：**

オペレーションズ・リサーチ（OR）分野の女性研究者は増加を続けており、活発な研究が展開されています。本関西支部研究講演会には、OR各分野において理論的研究から応用・実用化まで第一線で活躍中の

多くの女性研究者の中から、関西を中心に招聘させていただきました。講師の先生方には、「ORの第一線で活躍する女性研究者たち」というテーマの研究講演をいただく予定です。女性研究者の横顔と研究成果を紹介し、研究者間の情報交換や学生のOR研究への意欲促進を意図しています。そして、女性のみならず、OR分野の研究者として生涯活躍するためのモチベーションの向上、およびOR分野の研究者全体のさらなる増加と社会貢献を期待したいです。

#### 講師（敬称略）：

大野ゆう子（大阪大学大学院医学系研究科 教授）  
 森澤和子（大阪府立大学大学院工学研究科 教授）  
 柴田淳子（神戸学院大学大学院経済学研究科 准教授）  
 胡艶楠（名古屋大学情報文化学部 助教）  
 澄田範奈（国立情報学研究所ビッグデータ数理国際センター 特任研究員）

URL：<http://www.orsj.or.jp/kansai/seminar.html#20160716>

\* 詳細なプログラムは確定次第、改めてご案内いたします。

### ● 研究部会・グループ開催案内

#### 【評価のOR】

##### ・第69回

日 時：2016年6月9日（木）13：30～16：00

場 所：函館市地域交流まちづくりセンター研修室B  
<http://hakomachi.com/>

#### テーマと講師：

(1) “ROW AND COLUMN GENERATION ALGORITHM FOR MINIMUM MARGIN MAXIMIZATION OF RANKING PROBLEMS”  
 山本芳嗣（静岡大学）

We consider the ranking problem of learning a ranking function from the data set of objects each of which is endowed with an attribute vector and a ranking label chosen from the ordered set of labels. We propose two different formulations: primal problem, primal problem with dual representation of normal vector, and then propose to apply the kernel technique to the latter formulation. We also propose algorithms based on the row and column generation in order to mitigate the computational burden due to the large number of objects.

(2) 「野球・サッカー・ラグビーの選手評価（仮）」  
 廣津信義・木内 誠（順天堂大学）

\* なお、当日の午前中は北海道支部サマースクールが開催されており、チュートリアルがあります。

(1) DEAチュートリアル 上田 徹（成蹊大学）

(2) AHP・ANPチュートリアル 関谷和之（静岡大学）

問合せ先：廣津信義（順天堂大学）

TEL: 0476-98-1001 (ex. 352)

E-mail: [nhirotsu@juntendo.ac.jp](mailto:nhirotsu@juntendo.ac.jp)

参加費無料・事前申込は不要です。初めての方も気軽にご参加ください。

#### ・第70回学生会発表

日 時：2016年6月18日（土）13：30～17：00

場 所：東京理科大学森戸記念館

<http://www.tus.ac.jp/facility/morito/>

\* 発表者と演題は、決まり次第学会WEBに掲載いたします

問合せ先：廣津信義（順天堂大学）

TEL: 0476-98-1001 (ex. 352)

E-mail: [nhirotsu@juntendo.ac.jp](mailto:nhirotsu@juntendo.ac.jp)

\* 参加費無料・事前申込は不要です。初めての方も気軽にご参加ください。

#### 【不確実性環境下の意思決定モデリング】

部会URL：<http://www.oit.ac.jp/or/>

##### ・第7回

日 時：2016年6月11日（土）14：00～17：00

場 所：常翔学園大阪センター301教室（大阪市北区梅田3-4-5毎日インテシオ3F）

<http://www.josho.ac.jp/facility/osakacenter.html>

#### テーマと講師：

(1) 「ブロック構造化マルコフ連鎖の切断誤差評価と摂動解析」

増山博之（京都大学）

本講演では、ブロック構造をもつ無限小生成行列が定める無限状態空間上のマルコフ連鎖を考え、切断近似により得られる定常分布の誤差上界と、無限小生成行列の摂動による定常分布の摂動上界について述べる。また、切断された無限小生成行列、切断近似により得られる定常分布、元の定常分布の三つを繋ぐ極限公式を紹介する。

(2) 「観光地の写真に対する「心地よさ」の定量的評価及び音楽抽出」

川勝英史 (尾道市立大学)

本研究では、観光地の風景の「心地よさ」について定量的に評価し、同時に音楽を抽出する方法を提案する。ここでは、画像認識を応用するのではなく、「音程」と周波数成分の「間隔」とを結び付けることにより、画像から和音を抽出することを主に考える。提案する方法を、観光や防災アピールに応用することも検討している。

**問合せ先：**

主査 笠原正治 (奈良先端科学技術大学院大学)  
E-mail: kasahara@is.naist.jp  
幹事 中西真悟 (大阪工業大学)  
E-mail: nakanisi@dim.oit.ac.jp

**〔サプライチェーン戦略〕**

部会 URL : <http://scsr.jp/>

・第33回

日 時 : 2016年6月16日 (木) 18:30~20:30

場 所 : 青学総研10階18会議室

**テーマと講師：**

「海外プロジェクトへのシステムズ・アプローチ—理論・技法・展望」

佐藤知一 (日揮(株)経営戦略室 室長代行, 静岡大学客員教授)

**問合せ先：**

幹事 草刈君子  
E-mail: Kimiko.Kusakari@nifty.com

\* 会場アクセス・講演要旨・参加申込み方法は部会HPをご参照下さい。

なお、講演資料は研究部会の数日前にpdfで部会HPに掲載する予定です。

**〔待ち行列〕**

部会 URL : <http://www.orsj.or.jp/queue/>

・第9回学生・初学者のための待ち行列チュートリアル

日 時 : 2016年6月18日 (土) 14:00~17:00

場 所 : 東京工業大学大岡山キャンパス西8号館 (E) 10階 大学院情報理工学研究所大会議室

**テーマと講師：**

(1) 「Webブラウザで見る待ち行列シミュレーション」  
藤本 衡 (東京電機大学理工学部)

(2) 「S4 Simulation Systemで始めるお手軽待ち行列シミュレーション」

嶋田佳明 ((株)NTTデータ数理システムシミュ

レーション&マイニング部)

**問合せ先：**

幹事 佐久間 大 (防衛大学校)  
E-mail: sakuma@nda.ac.jp

**〔意思決定法〕**

部会 URL : <https://sites.google.com/site/decisionorsj/>

・第36回

日 時 : 2016年6月28日 (火) 16:00~18:00

場 所 : 日本大学桜門会館303会議室 (千代田区五番町2-6)

<http://oumon-shachokai.jp/location.html>

**テーマと講師：**

(1) 「ISAHPの歴史」

木下栄蔵 (名城大学)

(2) 「戦略管理会計と目標管理システム」

本橋正美 (明治大学)

問合せ先：西澤一友 (日本大学) TEL: 047-474-2664

E-mail: nishizawa.kazutomo@nihon-u.ac.jp

\* 終了後、懇親会を予定しています。

**〔信頼性〕**

部会 URL : <http://www.comp.sd.tmu.ac.jp/xiao/socialactivity/index.html>

・第13回

日 時 : 2016年6月18日 (土)

場 所 : 早稲田大学早稲田キャンパス

**テーマと講師：**

(1) 「高電磁環境下における高信頼順序回路の検討」  
福本 聡 (首都大学東京)

(2) 「状態監視保全のためのマルコフ決定過程モデルと最適保全方策の構造」

田村信幸 (法政大学)

問合せ先：幹事 肖 霄 (首都大学東京)

E-mail: xiaoxiao@tmu.ac.jp

・第14回

日 時 : 2016年7月1日 (金) 10:30~12:00

場 所 : 広島大学工学部 (東広島市鏡山1-4-1)

**テーマと講師：**

“My Scientific Journey and Monitorology—the Art of Observing the World”

Miroslaw Malek (Professor, Faculty of Informatics, University of Lugano, Switzerland, Director of Advanced Learning and Research

Institute (ALaRI)

In the age of Big Data, collecting and classifying it becomes essential as some of it is transformed into information, then some of it into knowledge and finally very little of it into wisdom. We focus on the art of observing the world by humans and electronic devices such as sensors and meters that, in general, we call monitors. More than seven billion humans observe and feel the world daily and some of these observations are captured by our memory, entered by keyboards or a wide variety of sensors and meters.

I will start with human observations by sketching my personal scientific journey and share with you my observations from Wroclaw Technological University in Poland where I was mainly a student, the University of Texas at Austin where I became full professor, Humboldt University Berlin where I was Chair of Computer Architecture and finally Universita della Svizzera italiana (University of Lugano) where I direct an Advanced Learning and Research Institute in Cyber-Physical and Embedded Systems.

We then move to monitoring devices, define main monitoring objectives and pose five challenges for effective and efficient monitoring that still need a lot of research. In the age of computricity, where compute power like electricity is easily available and easy to use across the globe, and big data that is generated in enormous amounts and ever-increasing rates, the question, what to monitor and how, will become ever more relevant to save the world from flood of meaningless, dumb data, leading frequently to false conclusions and wrong decisions whose impact may range from a minor inconvenience to loss of lives and major disasters.

問合せ先:

幹事 肖 霄 (首都大学東京)

E-mail: xiaoxiao@tmu.ac.jp

## ● 新宿 OR 研究会

〔第359回〕

日 時: 2016年6月21日(火) 12:00~14:00

場 所: OR学会事務局会議室(東京都千代田区岩本

町1-13-5 サン・チカビル7F)

\*詳細は学会HPをご覧ください。

<http://www.orsj.or.jp/members/inquiry2.html>

講 師: 野路福三氏(情報活用化研究会)

テーマ: 「社会現象の見方と客観的数値分析の方法」

参加費: 2,000円(昼食代を含みます。事前にもメールにてお申込みください。)

問合せ先: 日本OR学会事務局

E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

〔第360回〕

日 時: 2016年7月19日(火) 12:00~14:00

講 師: 伊倉義郎氏((株)サイテック・ジャパン)

テーマ: 「ツール開発から実践へ, ORアナリストの挑戦」

場所, 参加費, 問合せ先: 上記に同じ

## ● 他学協会協賛案内

他学会等が主催する大会やシンポジウムで当学会が協賛しているものについては, 原則として主催学会の会員と同じ費用で参加できますので, 皆様奮ってご参加ください。

### ・第59回自動制御連合講演会

日 程: 2016年11月10日(木)~12日(土)

場 所: 北九州国際会議場

主 催: 日本機械学会(幹事学会)

参加費: 日本機械学会会員価格に準ずる

WEB: <http://www.jsme.or.jp/conference/rengo59/>

## ● 公募案内

(詳細は, 各大学のWEBおよび, OR学会WEBの「教員公募案内」をご覧ください。)

### ・慶應義塾大学 理工学部数理科学科

募集人員: 准教授または専任講師(任期なし)1名

所 属: 理工学部数理科学科, 理工学研究科基礎理工学専攻(数理科学分野)

専門分野: 情報系の数学(離散数学, 最適化, アルゴリズム論等)

応募資格: (1) 博士の学位またはPh.D.を有するか, 着任時までに取得見込みのこと, (2) 数理科学科の情報系科目および学部1年次の数学共通科目(線形代数, 微積分)を担当できること

着任時期: 2017年4月1日

**提出書類:** (1) 履歴書 (写真貼付, 連絡先を明記のこと), (2) 研究業績のリスト (印刷中, 投稿中も含む), (3) 主な論文の別刷 (複写可), プレプリント, (4) これまでの研究業績の概要と今後の研究計画 (2,000字程度), (5) 教育および研究指導についての経験と抱負 (1,500字程度), 情報系科目および数学科目の教育経験についても記載のこと, (6) 推薦書 (1通), (7) 業績についての問い合わせのできる方2名の連絡先

**応募期限:** 2016年6月30日 (必着)

**書類送付先および問合せ先:**

〒223-8522 横浜市港北区日吉3-14-1  
慶應義塾大学理工学部 数理科学科主任 田村明久  
E-mail: chair@math.keio.ac.jp  
\*封筒に「教員応募書類在中」と朱書き, 簡易書留相当にて送付のこと.

**その他:** 必要に応じて面接あり.

・慶應義塾大学 理工学部管理工学科/大学院理工学研究科開放環境科学専攻 (オープンシステムマネジメント分野)

**募集人員:** 教授, 准教授, 専任講師, 専任講師 (有期), または助教 (有期) 1名.

専任講師 (有期), 助教 (有期) の場合は単年度契約とし, 双方の合意に基づき契約更新を行い, 専任講師 (有期) の最長雇用期間は2022年3月末日までの5年間, 助教 (有期) の最長雇用期間は2020年3月末日までの3年間とする.

**所 属:** 学部は管理工学科, 大学院は理工学研究科開放環境科学専攻 (オープンシステムマネジメント分野)

**専門分野:** ファイナンス (金融市場, 金融取引, 金融サービス, 資産運用, リスク管理, 実証分析, 経営分析, その他のコーポレートファイナンスや金融工学, 実証会計などの問題に対して, 数理・計量・統計的分析によるアプローチを基盤として研究・教育ができる人材を求める.)

**担当科目:** 担当科目については, 決定後相談. 演習・実験科目も担当あり. 教授または准教授の場合には, 大学院において専門分野の科目も担当あり. (大学院担当科目については, 英語で授業ができることが望ましい.)

**応募資格:** 博士の学位またはPh.D.を有し, 上記の研究・教育に従事する十分な能力を有すること. 学部

および大学院の研究・教育に対して熱意があること.

**着任時期:** 2017年4月1日

**提出書類:** (1) 履歴書 (写真を貼付し, 所属学会, 受賞歴, 連絡先 (郵便送付先, 電話番号, E-mail) を明記), (2) 研究業績リスト (査読付き原著学術論文, 査読付き国際会議論文, 国際会議発表, その他原著学術論文, その他学会発表, 著書, その他に分類), (3) 論文別刷 (主要なもの5編, 複写可), (4) 過去5年間の競争的研究資金の獲得状況, (5) これまでの研究の概要および今後の研究計画と抱負 (1,500字程度), (6) 教育業績リスト (過去の担当科目とその概要, その他), (7) これまでの教育の概要および今後の教育についての計画と抱負 (1,000字程度), (8) 推薦書1通あるいは照会可能な方2名の氏名, 所属, 連絡先

**応募期限:** 2016年7月14日 (木) 必着

**書類送付先および問合せ先:**

〒223-8522 横浜市港北区日吉3-14-1  
慶應義塾大学 理工学部管理工学科主任 栗田 治  
FAX: 045-566-1617 E-mail: shunin@ae.keio.ac.jp  
\*封筒に「教員応募書類 (ファイナンス分野)」と朱書き, 簡易書留で送付のこと.

\*書類選考を経て, 必要に応じて8月下旬あるいは9月初めに面接 (プレゼンテーションを含む).

・早稲田大学 理工学術院 創造理工学部・研究科 経営システム工学科・経営システム工学専攻/経営デザイン専攻

**所 属:** 早稲田大学 理工学術院 創造理工学部・研究科

【公募A】 経営システム工学科・経営デザイン専攻 1名

【公募B】 経営システム工学科・経営システム工学専攻 1名

**職 位:** 専任講師, 准教授, または教授

**公募A:** 生産・流通システムデザイン 1名

- ・着任時期: 2017年4月1日
- ・研究領域: 製品・サービスの提供における生産・流通システムの設計・運用管理にかかわるマネジメント技術
- ・経営システム工学の実務に関する問題に取り組むうえで十分な知識を有し, 教育・研究に強い意欲のある方を希望
- ・学部教育では, 経営システム工学科に所属し, 公募



要領に関係する科目（たとえば「生産・流通マネジメント」など）を担当

- ・大学院は経営デザイン専攻を担当

**公募B：生産マネジメントシステム1名**

- ・着任時期：2018年4月1日
- ・研究領域：生産マネジメントシステムの設計管理にかかわるモデル化技術
- ・経営システム工学の実務との関係性において、教育・研究に強い意欲のある方を希望
- ・学部教育では、経営システム工学科に所属し、公募要領に関係する科目（たとえば「生産管理学」など）を担当
- ・大学院は経営システム工学専攻を担当

**\*以下は公募A、Bに共通する**

**応募資格：**

- ・博士の学位を有する方、または、公募Aについては2017年4月1日までに博士の学位を取得見込みの方、公募Bについては2018年4月1日までに博士の学位を取得見込みの方
- ・大学院生の修士論文、博士論文の指導を行える方
- ・研究と教育の双方に情熱を持っておられる方
- ・ほかの教員と協力して、学部・専攻・学科の運営に力を注いでいただける方

**補足事項：**職位は、専任講師、准教授または教授。教育・研究歴、および年齢などに応じて大学が決定します。

**着任時期：**公募Aは2017年4月1日、公募Bは2018年4月1日

- ・任期の定めはありません（現在の定年規定は70歳）。

なお、着任時に61歳以上の方については特任教授としての嘱任となり、待遇も本学の「特任教授給規程」によるものとなります。

- ・雇用条件は早稲田大学の規定による。
- ・大学院について、経営システム工学専攻では、経営システム工学各領域の学術教育研究を行っている。経営システム工学専攻の授業時間帯は昼間。経営デザイン専攻では社会人教育を含む実践型教育あり。経営デザイン専攻の授業時間帯は夜間および土曜日が主体。

**提出書類：**(1) 応募履歴書：枚数制限なし、(2) 研究計画：2枚以内、(3) 教育にかかわる実績・抱負：1枚、(4) 研究業績リスト、(5) ご本人の照会可能な方2名、(6) 主要業績の別刷り

**応募期限：**2016年7月8日（金）17時（日本時間）（必着）

**選考方法：**第1次選考（書類審査）、第2次選考（面接）

**応募書類提出先および問合せ先：**

〒169-8555 東京都新宿区大久保3-4-1

早稲田大学 創造理工学部 経営システム工学科 連絡事務室（教員公募担当）宛て

E-mail: IMSEkoubo@list.waseda.jp

\*書留郵便ないしは宅配便など差出人が受領を確認できる方法で送付のこと。

**公募URL：**

<http://www.sci.waseda.ac.jp/>

[http://www.sci.waseda.ac.jp/common/uni-cms/wp-content/uploads/2016/04/160408\\_koubo-keiei.pdf](http://www.sci.waseda.ac.jp/common/uni-cms/wp-content/uploads/2016/04/160408_koubo-keiei.pdf)

\*\*\*\*\*  
**2016年度第2回 ORセミナー 『Excel SolverではじめるOR』**  
 \*\*\*\*\*

\*\*\*\*\*  
**開催趣旨:**「限られた人や予算をうまく配分したい」「リスクを最小にするような投資配分を見つけないか」あるいは「多角的な視点から店舗や社員の効率性評価を行いたい」。そのような問題はオペレーションズ・リサーチ (OR) の代表的なツールであり、ビジネスにおけるキーテクノロジーの一つである「最適化」によってアプローチすることが可能です。Solverはある種の最適化を実現するソフトウェアです。高度化が進むSolverの中にあつて、Excel Solverは最も身近なものであり、エントリーモデルとして相応しいものといえます。本セミナーではオペレーションズ・リサーチ (OR) の古典的な問題を教材に、Excel Solverでどんなことができるのかを学びます。なお、セミナーは講義形式と演習形式を織り交ぜて行い、参加者は予めExcel (2010以降可) をインストールしたラップトップパソコンを持参することを前提とします。

**日 時:** 2016年10月15日 (土) 10:00~17:30

**会 場:** (株)構造計画研究所本所新館 (地下1階レクチャールーム)  
 〒164-0011 東京都中野区中央4-5-3 TEL: 03-5342-1065  
 東京メトロ丸ノ内線「新中野」駅1番出口 徒歩約1分  
<http://www.kke.co.jp/corporate/map/tokyo2.html>

**コーディネーター:** (株)構造計画研究所 齊藤 努 (OR学会研究普及委員)

**司 会:** 中央大学 後藤順哉

**定 員:** 60名 (定員になり次第締め切らせていただきます)。

**プログラム:** (敬称略)

10:00~10:05 **開会挨拶**

10:05~10:30 **セッション1 「数理最適化とSolver」** 講師: 中央大学 後藤順哉  
 数理最適化とは何なのか、それにおけるExcel Solverの位置づけについて学びます。

10:30~12:00 **セッション2 「Excel Solver入門」** 講師: 文教大学堀田敬介

割当問題などの簡単な最適化問題について、数理モデルをExcel上で表現し解く方法を身に付けます。

12:00~13:10 **休憩**

13:10~14:00 **セッション3 「ゲーム理論」** 講師: 文教大学 堀田敬介

2人非協力零和ゲームの線形計画法への定式化について学び、Excel Solverで均衡解を求めます。

14:00~14:40 **セッション4 「{0,1}-整数計画」** 講師: 文教大学 堀田敬介

集合分割問題等の数理モデルをExcel上で表現する方法を学び、Excel Solverで求解します。

14:40~14:50 **休憩**

14:50~15:35 **セッション5 「ポートフォリオ選択」** 講師: 中央大学 後藤順哉

資産運用の基本である平均・分散モデルについて学び、Excel Solverで効率的フロンティアを求めます。

15:35~16:20 **セッション6 「VBAを使って便利にする」** 講師: 中央大学 後藤順哉

アプリケーション用プログラミング言語VBAと組み合わせてExcel Solverを使う方法について学びます。

16:20~16:30 **休憩**

16:30~17:30 **セッション7 「データ包絡分析法 (DEA)」** 講師: 中央大学 後藤順哉

DEAの基本的な考え方について学び、Excel Solverを用いて実現する方法について学びます。

17:30~17:35 **閉会挨拶**

17:35~ **「個別相談・質問コーナー」** 講師: 中央大学 後藤順哉, 文教大学堀田敬介

**参加費 (テキスト代込み):** 正・賛助会員 (協賛学会員を含む) 5,000円, 学生会員 1,000円, 学生非会員 1,500円, 非会員 20,000円

**ORセミナー参加者特典:** 正会員でない賛助会員/非会員/学生非会員がご入会される場合、入会金は無料となり、かつ、2016年度の年会費は免除されます。参加申込みメールに「ORセミナー参加者特典」利用による入会希望とお書き添えください。

**申込方法:** メールタイトル「第2回ORセミナー参加申込」として、お名前、ご所属先、正会員/賛助会員/協賛学会員/学生会員/学生非会員/非会員、お支払い予定日を記入してください。ご所属先宛の請求書が必要な場合、その旨お書きください。メール送信先: 日本OR学会事務局 E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

**申込締切:** 2016年10月7日 (金)

**振込先:** みずほ銀行根津支店 (店番号235) 普通1530801

**口座名:** 公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会

**協賛学会 (正会員と参加費同額):** 日本経営工学会 (JIMA), 日本品質管理学会 (JSQC), 日本信頼性学会 (REAJ), 研究・イノベーション学会 (JSRPIM), 日本設備管理学会 (SOPE-J), 経営情報学会 (JASMIN), プロジェクトマネジメント学会 (SPM)

**2016年度年会費納入のお願い**

2016年度年会費の請求書を2015年11月に発送いたしました。この払込取扱票は2016年1月以降も使用可能ですので、未納の方はお支払いをお願いします。大学または、会社宛の請求書が必要な場合は、以下をメールにて事務局にお知らせください（会員氏名、請求金額、請求書宛名（個人名／法人名／法人名+個人名）請求書の日付指定の有無、様式の指定…請求書／見積書／納品書、指定用紙など）。

**OR学会の事業年度は3月～翌年2月までです。**

**年会費専用振込み口座**

年会費（不課税）：正会員 14,400円、  
 学生会員 5,000円、  
 シニア会員 7,200円  
 口座名：公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会  
 ゆうちょ銀行：東京 00190-6-79492  
 みずほ銀行：根津支店（店番号235）普通 1124744  
 \*手数料は払込人負担をお願いいたします。  
 \*お名前はフルネームでお書きください。

**年会費の口座振替（正会員）**

年会費自動振替の方は**2016年1月20日**に「2016年度年会費」を引き落としさせていただきます。

**シニア会員について**

正会員のうち、20年以上正会員を継続し、会費を完納している60歳以上であり、定常収入を有しない方は、理事会の承認によりシニア会員になることができます。申請／承認後、翌年度よりシニア会員となります。シニア会員の会費は7,200円です。

**特別会員について**

正会員のうち、身体障害者手帳をお持ちの方は、その手帳の写しを事務局に提示していただくことにより、特別会員として年会費半額の免除制度があります。申請／承認後、翌年度より特別会員となります。特別会員の会費は7,200円です。

**2016年3月で卒業の学生会員の方へ**

**1) ご就職により正会員として会員継続希望の方へ**

新所属先（郵便番号、住所、所属機関、所属部署、電話番号、メールアドレス）、新自宅住所（変更があった場合）、連絡先メールアドレス（所属先／自宅）および、OR誌送付先（所属先／自宅）を事務局にお知らせください。

2016年度（2016年3月～2017年2月末）の会費はそのままです。2016年11月に2017年度（2017年3月～2018年2月末）正会員年会費14,400円の請求書を発送いたします。

**2) 退会希望の方へ**

退会理由（卒業、大学院修了等）を書いて、退会届のメールを事務局に送ってください。

**学生会員年会費無料化キャンペーン**

OR学会では学会活性化の一環として、2013、2014年度に引き続き、2015、2016年度も「学生会員年会費無料化キャンペーン」を実施中です。

1) 学生新入会希望で、かつ指導教員が正会員の方は、2015年度・2016年度の学生会員年会費5,000円は無料となり、入会金600円でご入会できます。

- ①WEBからの入会申込み
- ②入会金600円のお振込み
- ③指導教員様からの応募メール（「指導教員様のお名前、ご所属、学生の方のお名前、ご所属、メールアドレス」）

以上3点をもって、無料化受付が完了します。

2) 学生新入会希望で、指導教員様が非会員の場合は、「学生会員年会費無料化キャンペーン対象外」となり、通常の年会費5,000円が必要となりますので、ご注意ください。

3) 学生会員の方へ「学生証PDF送付依頼」のメールをお送りしました。返信をよろしくお願いいたします。

**OR学会事務局**

E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp  
 〒101-0032 東京都千代田区岩本町 1-13-5  
 サン・チカビル7F  
 TEL: 03-3851-6100, FAX: 03-3851-6055  
 \*各種お届けは、メールにてご連絡ください。  
 （住所／所属先／メールアドレス／OR誌送付先等の変更、退会届）  
 会員氏名と新旧の変更内容をお書きください。